平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月31日

上場会社名　ユタカフーズ株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　2806　URL　http://www.yutakafoods.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 古里　親
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 牧　清忠　TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,437	△8.6	549	△34.3	603	△32.0	376	△28.0
24年3月期第2四半期	11,423	7.5	836	△8.1	887	△7.8	523	△9.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	42.89	―
24年3月期第2四半期	59.60	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,192	18,537	87.5
24年3月期	21,407	18,382	85.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　18,537百万円　24年3月期　18,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
25年3月期	―	20.00			
25年3月期(予想)			―	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	0.1	1,500	0.7	1,600	1.4	1,000	14.4	113.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料の3ページ「2．サマリー情報（その他）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	8,832,311 株	24年3月期	8,832,311 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	50,378 株	24年3月期	50,308 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	8,781,948 株	24年3月期2Q	8,782,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
４．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）継続企業の前提に関する注記 ……8
（５）セグメント情報等 ……8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、景気が緩やかに回復傾向の動きが見られるものの欧州債務危機問題の長期化や円高・株安の進行による企業業績の下振れが懸念されるなど、依然として先行きは予断を許さない状況で推移しました。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、厳しい雇用環境や所得環境にともなう先行き不安感を背景とした低価格志向・節約志向による価格競争の激化が続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第２四半期累計期間の売上高は10,437百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益は549百万円（前年同期比34.3%減）、経常利益は603百万円（前年同期比32.0%減）、四半期純利益は376百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、うなぎの稚魚（シラスウナギ）の不漁に伴いうなぎのたれの売上が減少したものの液体スープの売上が順調に推移し、売上高は1,587百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は70百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が低調に推移し、機能性食品の受託も低調に推移したため、売上高は2,153百万円（前年同期比12.2%減）、自社ブランド製品の販売強化による販売促進費の増加にともないセグメント利益は96百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移したため、売上高は1,818百万円（前年同期比16.2%減）、セグメント利益は177百万円（前年同期比38.0%減）となりました。

即席麺部門は、受託が低調に推移し、売上高は3,545百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は191百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

その他は、水産物の水揚げが減少し、売上高は1,332百万円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

第２四半期会計期間末における資産の部は21,192百万円となり、前事業年度末と比べ214百万円減少しました。これは主に、流動資産では受取手形及び売掛金が296百万円減少し、固定資産では機械及び装置が64百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,655百万円となり、前事業年度末と比べ369百万円減少しました。これは主に、流動負債の買掛金が153百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は18,537百万円となり、前事業年度末と比べ154百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が201百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は5,077百万円となり、前年同期と比べ211百万円（4.3%）の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において営業活動により得られた資金は765百万円となり、前年同期と比べ320百万円（29.5%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益601百万円、減価償却費304百万円及び売上債権の減少296百万円による資金の増加と法人税等の支払額290百万円及び仕入債務の減少153百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は441百万円となり、前年同期と比べ92百万円（26.5%）の支出増となりました。なお、投資活動による主な支出は、有形固定資産の取得による支出358百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は175百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.1%）の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年５月11日に発表いたしました第２四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153,265	5,381,694
受取手形及び売掛金	2,142,533	1,846,120
商品及び製品	382,627	382,804
仕掛品	13,803	21,880
原材料及び貯蔵品	327,949	272,692
関係会社短期貸付金	7,000,000	7,000,000
その他	160,412	153,845
貸倒引当金	△9,175	△8,878
流動資産合計	15,171,416	15,050,160
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,276,271	2,242,233
機械及び装置（純額）	1,619,621	1,554,811
その他（純額）	984,757	1,037,952
有形固定資産合計	4,880,649	4,834,996
無形固定資産	11,120	11,055
投資その他の資産		
その他	1,344,146	1,296,577
投資その他の資産合計	1,344,146	1,296,577
固定資産合計	6,235,916	6,142,630
資産合計	21,407,332	21,192,790
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,396,733	1,243,257
未払法人税等	301,000	231,000
賞与引当金	161,028	167,609
役員賞与引当金	13,420	4,260
その他	515,391	360,992
流動負債合計	2,387,573	2,007,119
固定負債		
退職給付引当金	587,046	601,553
役員退職慰労引当金	50,360	47,010
固定負債合計	637,406	648,563
負債合計	3,024,980	2,655,682

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成24年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160,655	1,160,655
資本剰余金	1,160,652	1,160,652
利益剰余金	16,052,313	16,253,319
自己株式	△64,785	△64,891
株主資本合計	18,308,836	18,509,736
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,515	27,371
評価・換算差額等合計	73,515	27,371
純資産合計	18,382,351	18,537,107
負債純資産合計	21,407,332	21,192,790

(2) 四半期損益計算書
第２四半期累計期間

(単位：千円)

	前第２四半期累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)	当第２四半期累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)
売上高	11,423,607	10,437,422
売上原価	10,137,393	9,416,493
売上総利益	1,286,213	1,020,929
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	140,278	141,858
賞与引当金繰入額	22,638	24,451
役員賞与引当金繰入額	9,785	4,260
退職給付費用	12,340	14,518
役員退職慰労引当金繰入額	4,050	4,750
その他	260,998	281,873
販売費及び一般管理費合計	450,091	471,712
営業利益	836,122	549,216
営業外収益		
受取利息	20,785	20,829
受取配当金	24,239	22,796
雑収入	12,185	15,720
営業外収益合計	57,211	59,347
営業外費用		
賃貸費用	4,833	4,307
雑支出	519	518
営業外費用合計	5,352	4,825
経常利益	887,981	603,737
特別利益		
補助金収入	1,197	－
特別利益合計	1,197	－
特別損失		
固定資産除売却損	5,250	1,928
投資有価証券評価損	2,342	－
特別損失合計	7,593	1,928
税引前四半期純利益	881,584	601,809
法人税、住民税及び事業税	380,498	221,874
法人税等調整額	△22,337	3,289
法人税等合計	358,161	225,163
四半期純利益	523,423	376,645

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	881,584	601,809
減価償却費	297,611	304,363
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△213	△297
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,957	6,580
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,255	△9,160
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12,657	14,506
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,050	△3,350
投資有価証券評価損益（△は益）	2,342	－
有形固定資産除却損	5,250	1,928
受取利息及び受取配当金	△45,025	△43,626
売上債権の増減額（△は増加）	211,064	296,413
たな卸資産の増減額（△は増加）	25,972	47,001
仕入債務の増減額（△は減少）	△101,360	△153,475
未払消費税等の増減額（△は減少）	17,418	5,284
長期前払費用の増減額（△は増加）	5,199	5,400
その他の流動資産の増減額（△は増加）	129	△307
その他の流動負債の増減額（△は減少）	19,006	△60,379
小計	1,336,389	1,012,692
利息及び配当金の受取額	45,137	43,738
法人税等の支払額	△295,698	△290,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,085,828	765,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196,000	△216,000
定期預金の払戻による収入	136,000	136,000
有形固定資産の取得による支出	△287,476	△358,760
有形固定資産の売却による収入	370	－
無形固定資産の取得による支出	△200	△2,537
その他の支出	△5,382	△1,797
その他の収入	3,481	1,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,207	△441,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△175,156	△175,231
自己株式の純増減額（△は増加）	△277	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,434	△175,337
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	561,186	148,429
現金及び現金同等物の期首残高	4,305,175	4,929,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,866,362	5,077,694

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,528,188	2,453,379	2,171,143	3,805,123	9,957,835	1,465,771	11,423,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,528,188	2,453,379	2,171,143	3,805,123	9,957,835	1,465,771	11,423,607
セグメント利益	81,237	219,112	287,092	232,933	820,376	15,745	836,122

(注) １ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）及び倉庫収入事業を含んでおります。

２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第２四半期累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,587,731	2,153,093	1,818,678	3,545,376	9,104,879	1,332,543	10,437,422
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,587,731	2,153,093	1,818,678	3,545,376	9,104,879	1,332,543	10,437,422
セグメント利益	70,016	96,234	177,979	191,151	535,381	13,834	549,216

(注) １ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。